

科目ナンバー	EDU-3-024j			科目名	地域とこども		
教員名	後藤 さゆり			開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	近代化の浸透に伴い、地域には核家族化、少子高齢化などが複合した様々な課題が存在します。特に、子どもが自己を形成していく空間は、生活を通して地域と密接に関係しているため、その影響を大きく受けているといえます。そこで、この授業では子どもの遊びを中心とする生活空間に着目し、子どもと地域との関わり方の変化を捉えようと思います。さらに、その分析を通して地域と子どもとの関係を問い直し、今後の地域のあり方について検討したいと思います。						
到達目標	子どもと地域との関係について文献から理解を深める。自分の体験の考察や実際の地域の取り組み等の分析を通して、地域の課題について考察する力を身につける。現代における地域の課題を住み手の立場から発見し、子どもの成長という視点から地域のあり方を提案できる力を培う。						
「共愛12の力」との対応							
識見		自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力	
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力	○	構想し、実行する力	○
グローバル・マインド		主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	子どもの自己形成という軸から見出される地域の課題に対して、グループごとに調査やディスカッションを行い、その成果について発表を行います。 本授業では、グループワークと発表、個人レポートの提出を行います。各課題に対し、適宜総評を伝えます。						
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング			課題解決型学修	○	
受講条件 前提科目	前提条件は特にありません。						
アセスメントポリシー及び評価方法	授業中の参加の態度・小レポート40%、プレゼン30%、最終レポート30% 授業中の参加の態度・小レポートでは、課題理解度およびコミュニケーション力、プレゼンでは、問題に対応する力および伝え合う力、最終レポートでは、識見として課題理解度を総合的に評価します。						
教材	授業で随時配布。moodleの資料を利用。						
参考図書	ギル・ヴァレンティン『子どもの遊び・自立と公共空間―「安全・安心」のまちづくりを見直す イギリスからのレポート』明石書店、仙田満他『子どもが道草できるまちづくり―通学路の交通問題を考える』（京都）学芸出版社、南博文ほか『子どもたちの「居場所」と対人的世界の現在』、松澤員子他『子どもの成長と環境―遊びから学ぶ―』昭和堂、木下勇『遊びと街のエコロジー』丸善、日本住宅会議・関東会議編『キッズスペース 居ごちよい子どもの住環境』萌文社、ロジャー・ハート『子どもの参画―コミュニティづくりと身近な環境ケアへの参画のための理論と実際』萌文社、岸裕司『学校を基地に＜お父さんの＞まちづくり 元気コミュニティ！秋津』太郎次郎社、小宮信夫・他『安全・安心の環境づくり 地域で守る・自分で守る』ぎょうせい、延藤安弘『「まち育て」を育む 対話と協働のデザイン』東京大学出版会、加賀谷真由美『子どもとつくる遊び場とまち』萌文社、仙田満『子どもとあそび』岩波新書、元森絵里子『「子ども」語りの社会学―近現代日本における教育言説の歴史』勁草書房						
内容・スケジュール							
1週目							
授業学修内容	ガイダンス?授業の概要と進め方?						
授業外学修内容	授業資料を確認する。					時間数	
2週目							
授業学修内容	子どもの遊びと社会の変容						
授業外学修内容	課題プリントを読む。遊び場の変容に関する課題レポートの資料にあたる。					時間数	2
3週目							
授業学修内容	子どもと地域環境1―原風景と遊び場マップによる考察―						
授業外学修内容	課題を次回提出する。遊び場の変容に関する課題レポートの作成、提出。					時間数	3
4週目							

授業学修内容	子どもと地域環境2ー現在の子どもの遊び場の課題ー(グループワーク)レポート提出		
授業外学修内容	グループワークをレポートにまとめる。	時間数	2
5週目			
授業学修内容	子どもと地域環境3ー子どもが参加する行事と地域社会ー		
授業外学修内容	課題プリントを読む。地域と子どもとのかかわりに関する資料にあたる	時間数	2
6週目			
授業学修内容	遊びがつなぐ子ども社会1(冒険遊び場)		
授業外学修内容	課題プリントを読む。地域と子どもとのかかわりに関する資料にあたる	時間数	2
7週目			
授業学修内容	遊びがつなぐ子ども社会2(ミニ・ミュンヘン)		
授業外学修内容	地域と子どもとのかかわりに関するレポート作成	時間数	2
8週目			
授業学修内容	子どもの遊びと自然環境(DVD)		
授業外学修内容	地域と子どもとのかかわりに関するレポートを完成させて次回提出。	時間数	3
9週目			
授業学修内容	子どもの遊び場の問題と課題1ー私化する子どもの遊び場と子どもの自立ー(グループディスカッション)レポート提出		
授業外学修内容	課題プリントを読む。ディスカッションのまとめをレポートにまとめる。	時間数	2
10週目			
授業学修内容	子どもの遊び場の問題と課題2ー解決に向けた糸口を探すー(グループディスカッション)小レポートの提出。		
授業外学修内容	ディスカッションのまとめをレポートにまとめる。子どもの生育に配慮した環境づくりの先進的な事例を探す。	時間数	2
11週目			
授業学修内容	グループディスカッションとプレゼン準備1小レポートの提出。		
授業外学修内容	ディスカッションに基づき担当のスライドを作成する	時間数	2
12週目			
授業学修内容	グループディスカッションとプレゼン準備2小レポートの提出。		
授業外学修内容	グループでプレゼンの準備	時間数	2
13週目			
授業学修内容	グループディスカッションとプレゼン準備3小レポートの提出。		
授業外学修内容	グループでプレゼンの練習	時間数	2
14週目			
授業学修内容	課題発表1小レポートの提出。		
授業外学修内容		時間数	2
15週目			
授業学修内容	課題発表2 まとめ最終課題を提出する。		
授業外学修内容		時間数	2
上記の授業外学修時間の合計		30	
その他に必要な自習時間		60	

Number	EDU-3-024-j	Subject	Children and the Community			
Name	後藤 さゆり (Goto Sayuri)	Year and Semester	S	First semester for 2020	Credits	2
Course outline	<p>Following the permeation of modernization, various issues such as trends toward nuclear families, the declining birth rate, and the aging society have been compounded. In particular, the space where children develop their selves is closely related to the community through their everyday life, primarily playing, so the effect is great. Therefore, in this course, we will pay attention to the life space for children, focused on playing, and will try to grasp the changes in the relationship between children and the community. Furthermore, through that analysis, we will re-examine the relationship between the community and children, and will investigate how communities should be in the future.?</p>					